



GOVERNOR'S  
MONTHLY LETTER



APRIL 2023



モノレールと桜（徳力嵐山口駅付近）

北九州モノレール徳力嵐山口周辺は京都の嵐山に例えられる風光明媚な場所で、春にはモノレール沿線に桜が咲き誇り、絶好の撮影ポイントになっています。

2022-2023年度第2700地区ガバナーメッセージ

## ロータリー、継続活動と変化

国際ロータリー 第2700地区ガバナー 西島 英利  
(小倉南RC)

2022-2023年度国際ロータリーのテーマ





## 4月は「環境月間」です

2022-2023年度 R1第2700地区ガバナー  
西島 英利 (小倉南ロータリークラブ)



早いもので、私が第2700地区のガバナーになってから8か月が過ぎ、4月を迎える季節になりました。ロータリアンの皆様方にはクラブ活動において奉仕活動を活発に行なって頂いていることに関し、心より感謝申し上げます。

国際ロータリーでは4月を「環境月間」にしています。

ロータリーは、天然資源の保全と保護を強化し、環境の持続可能性を高め、人と環境との調和を促す活動を支援しています。

ロータリー財団は、ロータリー全員が以下のような活動によって環境を保護、保存、保全するのを支援しています。

1. 陸地、沿岸、海洋、淡水資源の保護と回復
2. 天然資源の管理と保全を支援する地域社会と地方自治体の能力向上
3. 生態系の健全さを改善するための農業生態学及び持続可能な農業、漁業。水産養殖の実践の支援
4. 気候変動と気候混乱の原因への取り組み及び温室効果ガスの排出削減のための解決支援
5. 気候変動と気候混乱の影響を受ける生態系と地域社会の回復力の強化
6. 環境を守る行動を推進するための教育支援
7. 資源効率の高い経済を築くために、生産物の持続可能な消費及び環境に配慮した副産物の管理の提唱
8. 環境整備の問題と環境公衆衛生上の懸念への取り組み

ところで今、ウクライナが大きな問題になっています。2022年2月24日にロシア軍がウクライナに侵攻してきました。夜明け前の開戦前夜に、短距離弾道ミサイルや巡航ミサイルなどを撃ち込みました。それから1年が経過しましたが、ロシア軍は今も侵攻を続けています。今、戦況が毎日報道されていますが、ロシアのプーチン大統領は都合のいい戦況を語っています。それが誤った情報であることが明確になっていることをロシア軍の関係者はプーチン大統領には誰も語ってはくれないのではないかと思います。今の情報化社会の中でロシアの国民はどう考えているのでしょうか。国の考え方が徹底している国家では、正しい情報が伝わっていても何も言えないのでしょうか。ロータリーは地元や海外の地域社会における紛争転換を促す活動を通じた、平和構築と紛争予防に関連する研修、教育、実践を支援します。ロータリアンの皆様方にはぜひ積極的な活動をお願い申し上げます。また、今月は4月22日、23日が国際ロータリー第2700地区の地区大会です。皆様方の御参加を是非よろしくお願い申し上げます。

## 2022学年度ロータリー米山記念奨学生終了式

米山記念奨学委員会 委員長 島 信英 (久留米東RC)

2023年3月5日(日)15:00より、TKPガーデンシティ博多新幹線口において、2022学年度ロータリー米山記念奨学生終了式を開催し、2023年3月終了の奨学生15名を送り出しました(なお、2022年9月には別に3名の奨学生が終了しております)。

奨学生だけではなく指導教官・カウンセラーにお越しいただき、吉田知弘ガバナーエレクトから奨学生終了証(サーティフィケート)を授与いただき、奨学生スピーチ、指導教官・カウンセラーから想い溢れる言葉をいただき、吉田知弘ガバナーノミネーから祝辞と終了奨学生、地区委員とともに記念撮影を行い、終了しました。

この奨学生終了式は、米山記念奨学生がその奨学期間を終了してロータリー米山学友となったことを祝して行う式典です。一般の卒業式に類似するものですが、奨学事業では「終了式」として特殊な表示をします。

奨学生の場合、奨学期間を終了するだけで、所属大学院・研究機関での学位課程の修了と直結しているわけではありません。もちろん、多くの学生は、奨学期間の終了と同時に学位を取得して次のステージに進みますが、引き続き同じ大学で研究を続ける学生、日本国内の企業・研究機関に就職する学生も多く、その進路は様々です。

重要なことは、奨学期間を終了し奨学生の立場を離れても、自分がロータリー・ファミリーのメンバーである

ことを深く胸に刻み、奨学期間に育んだロータリアンとの絆を大切に、それぞれの活躍の場にロータリーの精神を活かすことです。このような彼らの振る舞いを通じて、我々の奨学事業は、ようやくその実りの収穫のときを迎えることとなります。「終わっても、終わらない(奨学期間を終了しても、ロータリーとの絆は終わらない)」。そのことを確かめつつ、奨学生が米山学友となる節目を祝して歓送し、これから始まる彼らの活躍に我々ロータリアンが繋がること、これが終了式の意義です。

奨学生を見送るのは寂しいものですが、2023学年度には、新たに20名の新規奨学生を迎え、継続奨学生9名を含め、当地区の奨学生は29名となります。地区内の約1/2のクラブに奨学生が配置されることとなります。次にどのような出会いがあるか、皆様と共に期待したいと思います。大変、優秀な奨学生ばかりですので、出会いの機会に、是非、卓話にお呼びいただければと存じます。





## 第3グループ IM報告

令和5年2月18日(土)開催 ガバナー補佐 貞包 健一(八幡南RC)

第3グループ・インターシティミーティング(IM)は八幡南ロータリークラブをホストクラブとして、2月18日(土)にウエルとばた中ホールにて開催いたしました。西島ガバナーをはじめ、クラブ会長、幹事、地区役職者の皆様には多大なるご理解とご協力を頂きましたことを心より感謝申し上げます。

Imagine all the people Living life in peace

みんなが平和に生きることを想像しよう、というジョン・レノンの歌詞です。これがまさにロータリーが目指す世界ではないかと思っています。ジェニファー・ジョーンズRI会長が掲げた「イマジン ロータリー」をそのままIMのテーマとしました。

インターシティミーティングは、日本語では都市連合会と言われ、RIの正式行事からは外れていますが、近隣のクラブが集まって行う勉強会として重要なものだと思っております。今回は、クラブ会員以外の方にもロータリーに興味を持っていただくため、オープンロータリーの企画も取り入れ、各クラブから招待をしていただきました。周知期間が短かったことから十分な成果が得られなかったことが反省点ですが、4クラブから合計7名のエントリーがあり、入会のきっかけになれば幸いです。メインプログラムである記念講演とRLI模擬セッションも、オープンロータリーへの参加者を意識しての内容にしたものです。また、運営方針として、SDGsの観点からペーパーレス化を試み、従来のプログラム冊子はQRコードを読む形とし、名札の作成もクラブの名札利用に替えさせていただきました。

記念講演は、ロータリー奉仕デーの「海の豊かさ」から、無寄港太平洋横断にチャレンジされた大阪総合研究所



代表・辛坊治郎氏にお願いしました。演題は、「明日を読む～溢れる情報の海を乗り切るために～」とし、太平洋横断のエピソードに加え、我々が得ている情報が必ずしも正しくないことも念頭に置いて行動することの大切さを話されました。また、成功体験よりも失敗体験が大切、免許証返納は待った方が良く、ウクライナ戦争の終期などという話が印象的でした。



RLI模擬セッションでは、冒頭、地区研修リーダー古賀英次PGからRLIについての説明をしていただき、地区RLI中島渡副委員長にディスカッションリーダーを務めていただきました。パネラーとして、8クラブから登壇いただき、



RLIパート1セッション2「私のロータリー世界」での活発な討論を行いました。「ロータリークラブとは何か」という問いに皆さんはどう答えますか？

結びになりますが、このIMが、皆様にとって、今後のビジネスやロータリー活動の糧となることをお祈り申し上げ、報告と致します。



## 第4グループ IM 報告

令和5年3月4日(土)開催 ガバナー補佐 安部 光彦(福岡南RC)

第4グループのIMは、3月4日、電気ビル共創館未来ホール4階で、社会に役立つロータリーというテーマで開催されました。

このテーマに決めたのは、私たちのロータリー活動がこの3年間のコロナにより、ずいぶん疲弊しているのではないかと感じられた一方で、ロータリーは1905年、シカゴで、今と同じくらい色んな災害や不正、差別、貧困の時代に、「職業を通じて社会奉仕を行う」という精神で産声をあげたのではなかったのか、であるなら、今こそ、ロータリーの役割は何かを考え、新たな出発点にすべき年ではないかと思ったからです。

そこで、今期、国際ロータリーのテーマであるDEI(多様性、公平性、インクルージョン)を社会性という見地から振り返り、各論として、各クラブがこのコロナの3年間、どのような問題に直面し、どう克服したのか、その中で、ロータリーの存在意義はどこにあるのかを、各クラブ発表とパネルディスカッションを交えながら考えてもらうと企画しました。

まず、基調講演は、北九州市立大学准教授アン・クレシーニさんに「多様性と変わる未来」で講演をお願いしました。



各論では、第二部として「我がクラブを社会とのかかわりから語る」というテーマで、各クラブより経験と未来志向の発表を行っていただきました。

次に第三部として、「私の目から見た社会に役立つロータリー」と題して、コーディネーターを第2700地区公共イメージ委員会委員長田村志朗さん(福岡東RC)にお願いし、パネリストとして貫正義パストガバナー(福岡南RC)、石野洋一さん(宗像RC)、牧田隆さん(太宰府RC)、元美和さん(福岡南ファミリア衛星RC)の4名に議論していただきました。

基調講演では、アン・クレシーニさんは「多様性とは誰もが自分らしい生き方が出来る社会」と言われ、人々の中にあるアンコンシャスバイアス(無意識の思い込みや偏見)に気づくことが、多様性社会実現の一步を踏み出すことだと言われました。

第二部の各クラブ報告では、溝口猛さん(福岡RC)、濱野良彦さん(福岡東南RC)、大和竹史さん(福岡東RC)、井上孫紹さん(太宰府RC)、北原勉さん(福岡城南RC)、上原正行さん(対馬RC)、葦津幹之さん(宗像RC)、

上田正人さん(博多イブニングRC)、服部文忠さん(福岡南RC)の方々が、それぞれの入会歴、職業に応じて、ロータリーと社会との関わりはどうあるべきか、又実際のロータリーの社会活動について、多角的な視点から発表をしてもらいました。

その後第三部のパネルディスカッションでは、貫正義さんは九州電力事業者の立場から、カーボンニュートラルと社会的使命にロータリー精神との共通点を見出すと言われ、石野洋一さんは医師として、コロナ禍の中、診療とロータリー奉仕との両立を話され、牧田隆さんは解体・機械製造の仕事がふとしたことから古民家再生へのきっかけになり、地域おこしの原動力となったことを話されました。最後に、元美和さんはローターアクトの時代を含め、ロータリー活動を行っているロータリアンが、職業奉仕の中から社会奉仕へと頑張っているのを見て、自分の生き方の目標になったことを話されました。

このように、今回のIMは、ロータリーが変化していく社会の「歯車」の役割を担っていることが伝わったのではないかと思います。

これからもますますロータリーが社会に役立つものとなってこのIMがこれからの各クラブや皆様のヒントになればと願っています。





## 第6グループ IM報告

令和5年2月4日(土)開催

ガバナー補佐 北川 正勝(浮羽RC)

季節を分ける節分が過ぎ翌日は立春、例年ならば「立春とは言えまだまだ寒さ厳しき折」と云うところですが、今年は何となく春の足音が近づいて来るような陽気な今日。第6グループのIMは、浮羽ロータリークラブのホストにより、2月4日ホテルマリタール創生久留米に於いて開催いたしました。西島英利ガバナー臨場のもと、うきは市長高木典雄様、久留米市長代理橋本政孝副市長をはじめとする、多数のご来賓のご臨席を賜り、盛大に開催することが出来ました。「経済を停滞させるな」「イベント開催に躊躇するな」を基本方針に掲げ、YouTube配信を含めフルスペックで開催いたしました。結果的にはグループ内8つのクラブ全員登録(479名)のもと、330名のロータリアンにご参加いただき大変感謝いたしましたところ。尚、地区よりガバナー始め中島伸一郎地区幹事、井手和英パストガバナー、野崎千尋ガバナーノミニ、ガバナー補佐各位にご来場賜り花を添えていただきました。

さて、当クラブでは西島英利ガバナー年度の2700地区テーマ「ロータリー、継続活動と変化」を踏まえ、「地域の子供は地域で育てよう」を標榜し、地域の青少年育成を継続的に支援活動する事業に取り組みました。そこで、当日は“未来創造”をテーマに「子どもたちの夢とともに新たな未来へ」をサブテーマとしてIMを執り行いました。第1部の講演に福岡県立浮羽探究館高等学校のラグビー部監督吉瀬晋太郎教諭、(株)LeRIRO福岡代表島川大輝氏を講師として「青少年を育む瑠璃色の地球」。第2部はエクスモバイル株式会社代表取締役社長木野将徳氏による「諦めの先に閃きがあり、絶望の先に希望がある」と題してご講演願ったところ。1部では高校ラグビー日本一を目指しての吉瀬教諭の熱い思い入れが伝わり、同時に



ラグビーを通じて青少年の人間形成に寄与されていることに敬意を表したところです。また、(株)LeRIROの島川代表には、うきは市を拠点として近隣の企業に支えられながらラグビーのリーグワン入りを目指し活動されている姿が印象的でした。尚、エクスモバイルの木野社長には、正しく今後のDXを地で行く「目からウロコ」の話聞くことが出来ました。締めのお懇親会では子供たちを含む「よさこい」2チームによるオープニング演舞で始まり、LeRIROのプロラガーマン30余名を含め総勢240名の大懇親会です。西島英利ガバナーのご発声で杯を上げ、和やかな内に情報交換会、親睦会の始まりです。昨今、宴会を自粛されていたのか、皆様久しぶりの酒宴に話が盛り上がり、退席する方も少なく、冒険的な懇親会の開催であったけれど、結果的には盛会でした。最後に金谷永圭(久留米東RC)次年度ガバナー補佐の締めでお披露目となりました。

ご来場者はじめすべての皆様に感謝申し上げ報告いたします。





# 久留米ロータリークラブ 創立70周年 記念事業の御報告

久留米RC  
会長 大石 昌彦



## 1 記念講演会、記念式典、記念祝賀会

令和5年2月26日(日)久留米ロータリークラブ創立70周年記念事業として講演会、式典および祝賀会を久留米萃香園ホテルにて開催致しました。

記念事業に向けては、令和3年11月に倉田正平会友を委員長として創立70周年事業の実行委員会を立ち上げました。コロナ禍での不安を抱えた出発でしたが、当年度の運営方針である「前へ～10年後の未来に向けて～」との思いを胸に、記念事業の成功に向けた熱い思いで委員会一同となって準備を進めて参りました。

### (1) 記念講演

テレビでも活躍されているフリーキャスターで事業創造大学院大学客員教授の伊藤聡子氏より「コロナをチャンスに!地域から輝く日本へ」という演題で講演をして頂きました。自ら出向かれた取材の情報を基にした地域企業の事例を多数ご紹介頂き、地域の事業を支えるクラブ会員や関係者一同大変参考になりました。

### (2) 記念式典

当クラブの過去を振り返るオープニングビデオで始まり、副実行委員長藤田喜一郎会友が開会の挨拶を致しました。その後、当クラブの物故会友を偲び、追悼し、黙祷を捧げました。会長挨拶、実行委員長の挨拶に続き、原口新五久留米市長、本村康人久留米商工会議所会頭から、続いて西島英利ガバナー、スポンサークラブの福岡RCの西高辻信良会長から御祝辞を頂きました。続いて、当クラブ永年在籍30

年以上の会友8名の表彰式を行い、創立70周年記念事業の紹介ビデオを放映して式典は滞りなく終了致しました。

### (3) 記念祝賀会

祝賀会では、オープニングから共に福岡出身で元宝塚の穂高ゆう氏と星乃あんり氏による華麗で迫力のある宝塚OGショーで始まりました。会長挨拶、井手和英パスタガバナーの乾杯で祝宴に入り、第2部のステージでは、地元出身松田聖子の歌などポピュラーソングもあって会場の雰囲気は最高潮に達しました。講演者の伊藤聡子様もショー終了後には宝塚のお二人も祝宴に参加され、和やかで賑やかな懇親会となり、盛会のうちにお開きとなりました。

## 2 式典までの記念事業のご報告

記念事業としては、ポリオプラス基金へのチャリティーという位置づけで創立70周年記念ゴルフ大会を令和4年11月11日に佐賀カントリークラブにて開催致しました。また、周年毎に開催している物故者追悼式を令和4年11月25日に梅林寺にて実施致しました。

さらに、記念事業として久留米市の石橋文化センターの門扉「ローズゲート」を寄贈し、令和5年2月14日に同所にて寄贈式典を実施致しました。

以上のとおり、無事に周年事業を終えることができましたのは、ご来賓の皆様やクラブ会友、関係者の皆様のお陰であると心より感謝申し上げます。久留米ロータリークラブは、「10年後の未来に向けて」さらなる歩み続け「前へ」Go forward! 進んで参ります。



華麗で迫力のある宝塚OGショー



【記念事業】ポリオ撲滅チャリティーゴルフ大会



【記念事業】物故者追悼式



【記念事業】石橋文化センター「ローズゲート」寄贈式典



## 米山記念奨学生紹介

今年度第2700地区でお世話している27名を、月信で数名ずつ紹介します。  
ロータリー米山記念事業とは、ロータリアンからの寄付を財源として、日本に在留している外国人留学生に奨学金を支給し、日本の理解と国際親善を推進するロータリー日本国内全地区合同プロジェクトです。



アブシャウイッシュ  
アスマア ビア  
(パレスチナ)

産業医科大学 医学  
医専4年生  
世話クラブ:小倉中央RC  
カウンセラー:巫部 祐彦

私はアスマー アブシャウイッシュです。私は結婚していて、二人の女の子がいます。パレスチナからきました。2018年に日本にきました。私は医師です。産業医科大学で勉強しています。いま博士課程4年生です。私の研究分野は医学専攻小児科です。

2011年に高校を卒業し、2017年にパレスチナのイスラーム大学医学部を卒業しました。その後、2018年に医師免許を取得しました。2018年から2019年にかけて産業医科大学で研究者として働き、2019年から現在まで、産業医科大学医学研究科博士課程にて学んでいます。

また、博士課程での研究においては、保育園への早期通園開始、上気道感染症の罹患頻度そして上気道感染症の治療として用いられる薬剤の使用と上気道細菌叢の変化との関連性について検証しました。

研究結果として、早期の保育園就園や保育園就園に関連した環境要因(抗菌薬投与頻度や上気道感染症罹患頻度)は、若年小児の上気道細菌叢の変化に関連があることが示唆されました。この1年で1本の論文を発表し、小児科の学会にも参加しました。



学位取得後は日本でポスドク研究員として引き続き、知識や経験を深めたいと考えています。その後は母国パレスチナに帰国し、大学で研究者として働きたいと考えています。その際には、日本で得た全ての知識や経験をパレスチナではまだ十分でない研究力の向上に役立てることができると今から期待しています。改善するための重要な役割を担うことと確信しています。



ヒ  
ソウ  
費 双 (中国)

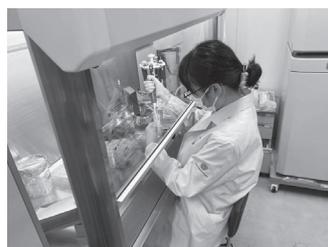
九州大学大学院(腫瘍外科)  
博士課程4年生  
世話クラブ:八幡南RC  
カウンセラー:星野 正俊

国際ロータリー2700地区2022年度ロータリー米山記念奨学生の費双と申します。現在、九州大学大学院・医学系学府・医学専攻・第一外科腫瘍外科研究室にいます。福岡県八幡南クラブにお世話になっております。出身は中国の黒龍江省のチチハルです。チチハルの市名は満州語ではチチガル・ホトンで辺境あるいは天然の牧場の意味であります。また市域には十数種の鶴が生息する有名な湿地・ジャロン自然保護区があります。そして、チチハル市も鶴城とも呼ばれます

私が、先進的な医学研究の技術と知識を学び、病気に苦しむ患者さんを救う一助になりたいので、中国の大学入学試験を経て、黒龍江中医薬大学に通いました。本部生の5年間で私が360人の学生の中で3番目にランクされた優れたテストスコアのあるために、試験免除大学院推薦入学されました。大学を卒業後、膀胱癌の研究に続けたいために、九州大学へ来ました。家に帰る

頻度が年単位になっています。でも、初めて海外留学するので、とても違った気持ちになりました。現在、私は、九州大学博士課程に在籍しています。講座は腫瘍外科です。膀胱癌の腺房導管異型性と血管新生のメカニズムを研究しています。将来は、少しでも社会へ貢献したいと思っています。

2022年から1年間、八幡南ロータリークラブに奨学生としてお世話になりました。クラブの皆さんはいつも親切で助けになってくれて、とても温かい気持ちになりました。また、さまざまなロータリーの方々と交流することで多くのことを学び、視野が広がりました。本当にありがとうございました。ロータリー記念奨学金は、家族みたいです。ロータリアンは奨学生の親みたいです。これから、今までの感謝の気持ちを表す恩返しとして、研究に精一杯努力していくように頑張ります。





国際ロータリー  
第2700地区

## ローターアクト 活動報告



国際ロータリー第2700地区 ローターアクト地区委員会 副幹事

片山 亮輔 (福岡南ローターアクトクラブ)

平素よりお世話になっております。ローターアクトより活動報告をさせていただきます。

2月12日、福岡市内にて地区研修会を開催しました。当日はウォークラリー形式でローターアクトについての知識を深めるクイズや各人をより深く知るためのゲームを行いながらの開催となりました。



なかには難しい問題もあり、ゴールまでたどり着けないチームもありましたがハプニングも含めて「楽しみながら」アクトについて学ぶことができたのではないかと思います。

当日はバレンタインデーに近いこともあり、一番早く着いたチームにはチョコレートがプレゼントされました。



また、3月より台湾アクター受け入れのための準備が始まりました。ここ数年コロナの影響で交流が絶たれていたのですが、今年こそは対面での交流を通じて国際理解や友情を深める時間を育めたらと思います。

今期も残り少なくなって参りましたが、5月13日-14日には小倉にてローターアクトの地区大会が、5月28日には久留米ローターアクトクラブの周年式典が控えております。機会がございましたら、足をお運びいただけますと幸いです。

ローターアクトではボランティア活動に加え、定期的なプレゼンや異業種交流を通して、将来を担う若手人材の醸成に取り組んでおります。身近にご興味のある方がいらっしゃいましたら地区メールアドレス (fukuoka2700@gmail.com) までご連絡ください。

ローターアクト地区メールアドレス

fukuoka2700@gmail.com



## 第3回 ガバナー諮問委員会 議事録

【日 時】 2023年2月3日 (金)15時00分~16時30分 【場 所】 福岡朝日ビル13号会議室  
 【出席者】 廣畑、原田、波多野、小山田、穴井、本田、安増、岡野、灘谷、古賀、貴、以上PG、西島G、吉田GE、  
 野崎GN、中島地区幹事、大神次年度地区幹事、野口次年度会計長、重富事務局長 (以上18名)  
 【欠席者】 大島、立花、中島、井手、富田 (以上PG 5名) (敬称略)

(議事進行 中島地区幹事)

【議 題】

### 西島ガバナーご挨拶 (西島G)

司 会 ただいまより西島年度第3回ガバナー諮問委員会を開催いたします。西島英利ガバナーご挨拶をお願い申し上げます。

西島G 第3回ガバナー諮問委員会を開催するに当たり、多くのパストガバナーの皆様にご参集いただきまして有難うございます。本日の諮問委員会の主要課題は、今年1月初めにアメリカのフロリダ州オーランドで行われた国際協議会についての吉田ガバナーエレクトからのご報告と、次年度のご方針をお聞きする事が中心になると思います。もう一つは1月28日に開催されたロータリー財団資金管理セミナーです。クラブの財団責任者がこのセミナーを受けていないとクラブはロータリー財団へ地区補助金申請が受けられないという非常に重要な会議でした。また同日、ポール・ハリス・ソサエティの集いが開催され、ロータリー財団クラブ表彰が行われました。また、本日この会議の前に戦略計画委員会が開催され、「地区カウンセラーの規定」の変更が検討されました。あと一つは、ガバナー指名委員会が開催され推薦者の受理が行われました。貴ガバナー指名委員長と古賀戦略計画委員長より後程それぞれご報告頂きたいと思っております。

司 会 次に西島ガバナーに第2700地区の現況報告をお願いします。

### 西島ガバナー第2700地区現況報告

西島G 地区の現況の報告を申し上げます。資料によりますと、2023年1月1日の会員数は3,094名(内女性218名)。昨年同月比で-3名ですが女性は+22名増えました。特筆すべきことは、福岡東南けやきロータリー衛星クラブが11名(内女性2名)で新設されました。これは非常にうれしいことです。先日、第3地域のガバナーの会が行われましたが、これまで他の地区は衛星クラブに積極的ではなかったのですが、深い関心を示しておられました。財団の寄付状況は、2022年12月末現在162,644.34ドル(2021年12月末現在

199,884.36ドル)でした。若干減少しています。

次に米山記念奨学金寄付額ですが、2022年12月末現在27,066,395円、昨年同期の寄付額より減額しています。これについても皆様のご意見を頂きたいと思っております。次にRI理事が招集者である各種会議の予定が来ています。2023年7月1日ガバナー・元・次期ガバナー懇談会(Gプリンセス高輪「プリンスルーム」)等々です。ご出席義務者の方、出席希望の方はご参加ください。ご清聴ありがとうございました。

司 会 ご質問がありましたら、お願致します。

穴井PG 寄付額が米山も財団も減少していますが原因は何でしょうか。

西島G 新型コロナの問題が大きいのではないかと思います。

司 会 他にありませんか、無いようですので野口次年度会計長、2023~2024年度予算案の説明をお願いいたします。

### 2023年-2024年度予算案の説明

野口次年度会計長 次年度会計長を務めます福岡東ロータリークラブの野口勝義です。よろしく申し上げます。第2700地区の2023~2024年度の予算案のご説明を致します。吉田ガバナーエレクトの基本方針に基づき予算案を作成しております。収入に関しましては、現状の会員数3,094名から50名以上の増強目標として3,150名で予算を作成しております。各委員会予算も、5月よりのコロナウィルスが5類へ移行される見込みの為、委員会活動も活発になることを踏まえ、次期各委員会の予算要望書をご提出頂き、全ての委員会と面談を行い事業計画に沿った予算案として、ガバナーエレクトの要望に沿い計上、作成いたしました。地区のDX化の推進を図り、月信の電子化、各委員会のズーム併用、データのクラウド化の促進により、経費の軽減を図ります。以上の基本方針にのっとり予算案を作成致しました。詳しくは予算書案にてご確認下さい。

司 会 野口勝義次年度会計長有難うございました。次にアメリカのフロリダ州オーランドで国際協議会に参加され、1月14日に帰国されました吉田ガバナーエレクトにご報告をお願い致します。

**国際協議会報告**

吉田知弘GE 3年ぶりの国際協議会でした。日本時間7日の昼出発して、オランダについたのが同じ7日の現地時間午前7時でした。翌日8日の正午過ぎに会場であるローゼンシングルクリークホテルという巨大な複合コンベンション施設(ホテル)へ移動し、登録の手続をしました。この日の晩は、ホテル屋外の広い中庭で歓迎レセプションが行われましたが、RI会長エレクトがスコットランドのご出身ですので、バグパイプの楽隊の先導で入場されるなど、スコットランド色の豊かなセレモニーとなりました。

協議会のプログラムが9日から始まり、その後12日までの4日間、本会議・分科会を繰り返しながらの日程となりました。閉会レセプションと晩餐会が終了したのが、最終日12日の夜9時半でしたが、ホテルのポーターが荷物を回収に来るのがその1時間半後の午後11時、そして、チェックアウトのためのモーニングコールが午前1時半になるというたいへんなスケジュールでした。大変な強行軍でしたが、とても楽しい国際協議会でした。貴重な機会をいただいたことに心より感謝を申し上げます。

スケジュール的には、昼は本会議・分科会、夜はパーティー(これに続けて自前の2次会、3次会)という日程の繰り返しです。時差ボケに苦しみながらの4日間でしたが、これを何とか乗り切り、同期のガバナーと仲良くなって帰ってきました。

最初の本会議でゴードンR.マッキナリーRI会長エレクトによるテーマ講演が行われました。この講演の中で、2023~2024年度におけるRI会長テーマとして「Create Hope in the World」(世界に希望を生み出そう)と発表されました。これを受けて、私の地区メッセージを「ロータリーを開き、ロータリーを前進させよう」と決めました。

テーマ・講演の内容を注目すべき要点を整理します。

まず、「**継続と変革**」ですが、ここでは何を「継続」するのか、それは、ここ数年間の優れたリーダーたちのアイデアをしっかり引き継ぎ前進、発展させようという趣旨です。これらのアイデアや方針を受け継ぎ、引き続き重視していくということです。そのような重点取組事項として、ロータリーアクトの地位向上、女兒のエンパワメント、注目を集めるDEI、そして再度「ポリオ根絶」という大きいテーマが受け継ぐべきものとして示されました。特に、ポリオはあと一歩のところまで来ていて、そこで足踏みしています。最重要に近い重点取組事項として掲げられています。

また、「**ビジョン声明とロータリー行動計画の実践の重要性**」が掲げられました。行動計画は希望を生み出し、変化に必要な知識と勇気をロータリー会員に与えるもの、これを成し遂げるための視点として、既知の成果と立証された証拠に基づいた奉仕プロ

ジェクトについて会員と話すこと、互いにインクルーシブで思いやりのある心を持って接すること、世代を超えた、国境を越えて活動し、環境を築くためにあらゆる機会を探し求めること、そして世界に持続可能な変化を生み出すアイデアと視点を進んで受け入れること、そういう視点が示されています。行動計画とビジョン声明をしっかり結び付けて、地域社会で持続可能な変化を生み出すこと、持続可能、持続可能と、このキーワードが繰り返し強調されている点に注目したいと思います。

各論的に強調されたこととして、まず「平和」があります。これは当然ですね。国旗を掲げて代表者が入場し、参加国が紹介された際、ウクライナが紹介されると、ものすごい盛り上がりでした。ウクライナ支援に代表される人道支援の成果に触れて、平和というものをきちんと強調していきたい。平和の追求を最も勇敢な目標だと掲げて、すべての分野にわたる全活動が希望の一助になると強調されていました。そして、テーマ「世界に希望を生みだそう」Create hope in the World が示されました。この前にタイの津波災害の中でのエピソードが引用されました。人を絶望に陥れる悲劇は戦争に限らない。その一方において、コロナの中で様々な絶望に陥った人たちがいる。こういう人たちに希望を生み出すことが重要なテーマだと強調され、ここから今回のテーマが導き出されました。

メンタルヘルスのことが強調され、重点的な取組事項とされたことにも注目を要します。ガバナーエレクトのワークブックの中で「あなたの仕事とガバナーの仕事をどのように調整しますか」という課題設定があり、分科会セッションの中でも実際に協議されました。「がんばりすぎるな」というRIのメッセージです。テーマ講演の後、機会を改めて、メンタルヘルスに注目したことの種明かし、理由の説明がありました。マッキナリー会長エレクトの弟さんが鬱で自殺なさっておられるようです。そういうこともあって希望を失うことがどれほど重大なことか、その結果としてもたらされる悲劇的な結末に注目せざるを得ない。その人たちが助けを求めて手を伸ばしてくる。それを拒むのは差別や偏見に他ならない。「スティグマ」という言葉が用いられています。ここでは、社会が寛容でなければならないという論理と抱合せにして、スティグマ解消の重要性が強調されていました。

次年度の私たちの計画として、世界に平和をもたらす、紛争の影響を受けた人を癒す、そして私たちの内面的な戦いと向き合うために、地域社会の助け、社会の偏見をなくし「世界に希望を生み出そう」というテーマが導き出されました。

このテーマ講演には、数年前のテーマ講演にあったような「バケツに開いた穴をふさぐ」といった直接的な言葉はないのです。その分だけ「希望」という言葉に直結する背景にしっかりとした説明がされています。ウクライナの戦禍、コロナ禍、そして様々な個人的事情によって心身に深い傷を負った人の心に寄り



添うという、非常に注目のテーマだったと思います。同時にその目標を達成していくための活動の組み立て方には、ロータリーのビジョン声明であるとか行動計画に即した実践が重要だということが強調されています。DEIの理念に即したオープンでインクルーシブな環境の醸成、従来重視されてきた奉仕を重視することが大切であると示されています。

改めて考えたのは、ビジョン声明・行動計画をしっかり理解することの重要性です。注意しないといけないのは、行動計画の中にある「より大きなインパクトをもたらす」という言葉の意味です。インパクトという言葉は、衝撃的で派手であればよい、打上げ花火は大きければ大きいほどよいという意味でなく、長期的で、持続可能なポジティブな変化をもたらすものでないと、インパクトのあるものとはなりませんと定義、説明されています。ロータリーの行動によってもたらされるポジティブで長期的、効果的な変化をもたらさないといけない。教育の遅れた、識字率の低い国の子供たちに教科書を500冊送った。効果があったか、成果が出たか、インパクトがあったか。教科書を送っても先生がいないなら効果はないでしょう。成果を図って、それが根付くよう工夫しなければならない。もっと言えば、先生を連れてきて、その教科書で学んだ人の中から、5年後10年後にそこへ戻って先生になる人が育たないといけない。そうでないとインパクトがあるとは言えない。インパクトという言葉が「持続可能性」と関係づけられているのです。この観点からは、クラブの活動が持続可能なものであるかが一番大切だと思っています。我々が100年前から大切にしてきた価値観、ロータリーの伝統的で良心的な価値観は、四つのテストとして、また、中核的価値観(親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ)として、今でもしっかりと継承されている。これを守って、次世代に継承しようとしても、クラブに元気がなくなり、閉鎖的になり、停滞・消滅しそうになってしまつては元も子もない。そのようなクラブが出てきたときにも、最後はクラブの自律性に任せるしかありませんが、本当に消滅させていいのですか、あなた方がクラブの中に閉じこもってしまい、自分たちの殻に閉じこもってしまい、結果クラブを途絶えさせたら、先輩たちにどう申し開きするのですかと問わねばならない。どのクラブにとっても、決してそれは本意ではないはずで

そうならないために、ロータリーを元気にしていくために「ロータリーを開き、ロータリーを前進させよう」というテーマを設けることにしました。産業構造、社会構造が変化していく中で、ロータリーだけがその変化の外にいられる訳がありません。ロータリーもその在り方、バリエーションを増していかなないと、環境適応できず、自然淘汰されていくかもしれない。これを何とか克服していこう。そのためにクラブの開放性を高め、さまざまなバリエーションを生んで、そのバリエーションの中から次世代へと適応していく事を考えていかねばなりません。社会の構造の変化に

かかわらず、クラブを強く、みずみずしく保つ、そのためにクラブの開放性を高めていきたいと思いますということ

かかわらず、クラブを強く、みずみずしく保つ、そのためにクラブの開放性を高めていきたいと思いますということ

一つ一つ会員増強に困ってない大きなクラブ、活力溢れる活動ができていくクラブは、そのままでもいいのです。そうでないクラブは様々な工夫をする必要があるのだろうと考えました。それが「ロータリーを開き、ロータリーを前進させよう」というテーマの本意です。

**次に、取組み手法の要点を説明します。**

ここ数年のやり方は、「各委員会へのお願い」という形で整理してありましたが、それでは本意が伝わりませんので、ここでは私からのメッセージを伝えることを中心としました。それを軸に、関係する委員会に自ら読み解いてもらえるようにコメントをまとめました。

- ① クラブの活性化/CLPは、本来、クラブに画一的に一定の形を整えさせ、無理やり押し付けることが目的ではありません。最終的な目的はクラブが自分で考え、自分で活力を増すように努力し、その努力を通じてクラブが自ら活性化していくこと、ここがすこぶる重要です。

地区からクラブにああしろ、こうしろと言ってくるが、地区は何一つ具体的なことを教えてくれないなどの苦情交じりのリクエストが聞こえてくることがあります。これは、本来、クラブが自分で考えなくてはならないことかもしれませんが、その手掛かりやヒントを何一つ与えず、支援もせずに「さあやれ」と言われても、何をどうしたらいいのかわからない、そのお嘆きは誠にもったもなことでしょう。そのため、クラブ運営支援委員会を設けて、ここに具体的なヒントを整えてもらうように指示しています。ここを中心に、具体的な活動モデルをサンプルとして示していただく、このことを軸にクラブへの支援を組み立てていただきます。

- ② ロータリーの魅力の向上に向けて、ロータリーの価値創造とブランディングを置きました。ロータリーがこれまで以上に価値を高め、社会の注目と敬意を集めていく上で、価値ある奉仕活動を実施すること。それに加えて、その価値ある活動を社会に伝えていくことが欠かせません。これは入り口と出口の関係になります。入り口から入ってきたものを出力して、効果的に伝えていくことも大事ですが、同時にその価値をアピールしていくこと、社会に受け入れられるようなプロジェクトを出口のほうから遡って、入り口で考えることがあってもいいのではないかと。奉仕プロジェクト部門(社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕等)と公共イメージ向上部門は相互に連携して意義ある奉仕活動を組み立ててほしいと思います。

また、クラブ運営支援部門と連携して、各クラブが行う奉仕プロジェクトにも効果的なアイデアを具体的に提供してほしいと思います。さらに、RIが強調しているパートナーシップの輪を広げて奉仕のインパクトを高めていこうという視点も重要です。当地区では、青年会議所や私立学校の団体と既に連携協定を構

築しています。そこの連携をしっかりとやっていくということと、新しいパートナー団体を探して連携をしっかりとやっていきたい。

- ③ そしてポリオ根絶です。ここはRI会長方針の中でも力説されており、諸般の事情からRIとしてかなり力が入っていることもうかがえます。世界中のゾーンや地区で、次年度の優先的取組事項として重視されることは間違いないので、当地区としてもしっかり取り組みます。
- ④ また、「メンタルヘルスの改善への取り組み」に何ができるかという事が問題になります。社会奉仕を中心にとということになりますが、具体的な取り組み方法を考案していただきたい。
- ⑤ マイロータリーの登録率の向上は、大変大切なことだと思います。これは単なる会員専用ホームページではありません。重要なリソースの窓口であると同時に、その範囲さえ超えて、ロータリー活動のプラットフォームと化しつつある。ここにしっかりアクセスできないとロータリー活動を効果的に行うのが難しくなってきました。地区委員会ははじめ各クラブで努力していただき、マイロータリーの登録率は49パーセント超のところまで上がっています。この登録率のさらなる底上げをお願いしたい。既に、登録率100%達成クラブが何クラブかありますので、同じように熱心にやっていただいたクラブをガバナー表彰の対象にして推奨していきたいと考えています。
- ⑥ さらに、全クラブロータリー賞を目指していく、これは意義ある取り組みだと思います。他の地区でやったところがあります。高い目標を設定するから転ぶのです。地に足のついた目標ですと案外やれてしまう。それで、是非これはやりたいと思いました。そこで必要になってくるのがクラブセントラル、クラブの目標を入力しながら可視化していく。マイロータリーの登録向上に繋げていきたい。
- ⑦ また、会員増強の目標ですが、ここ数年3,400名という意欲的な数字を掲げて取り組んできましたが、コロナの下げ圧に頭を圧されて、3,100名前後を行ったり来たりの状況から抜け出せずにいます。コロナの活動制限も終わりが見えました。たいへん悩ましく思いましたが、次年度は、視点を変えて、まず3,200名という2700地区のサイズ感を表す基準会員数を回復しようと、そこにターゲットを絞ることにしました。そして、それを踏み越えてもっと伸ばしていく一里塚として3,200名回復を最低限の目標として掲げようと思います。
- ⑧ ロータリー衛星クラブの話ですが、国際協議会のセッションの中でRI日本事務局の縄田さんから、2700地区は衛星クラブが凄いですねと言われました。私とは別の分科会のことですが、縄田さんが「衛星のことは吉田さんに聞け」と言っていたよと、同期のエレクトから言われたくらいで、日本事務局も注目

するほどの成果として評価されているようです。衛星クラブは、色々なタイプの人を取り込むことができ、今まで我々の手が届かなかった人たちを拾い上げることが可能で、いわばジュニアパートナーとして活動の中に取り込むために有意義な仕組みです。設立準備中を含めると全部で10クラブになると聞いています。このような好ましい状況もあるので、衛星クラブ設立の支援と促進を図っていきたいと思います。

- ⑨ 次に、デジタルトランスフォーメーションにも取り組んでいきます。DEIも企業社会が広く取り組んで人事政策の要になりました。DXも同じで単にペーパーレスにして、コンピューターを使って効率化するというだけでなく、そこに付加価値を付け、企業価値を増していくというのがデジタルトランスフォーメーションの意味だと思います。

私はロータリーの古典的な価値観を尊重します。ロータリーを守っていくことを考えた時、ビジョン声明、行動計画は重要だと思います。ロータリーに活力をもたらし、ロータリーを取り戻せます。DEIに関してはアメリカ、ヨーロッパの分断社会の影響を受けていると聞きます。社会の同質性が高い日本ではDEIをそんな強調する必要はないという意見がある一方、同質性が高い分だけ、異質なものが排除されやすいという側面もあります。この理解のキーワードは寛容の精神だと思います。

司 会 吉田ガバナーエレクトありがとうございます。質問がありましたら、お願いいたします。

穴井PG ポリオ根絶について質問します。文明国である日本では具体的に何をやりますか。一番重要なことは資金でしょう。寄付ですね、これが一番大事だと思います。

吉田E 一部の先進国でも感染者が確認されたことが話題となりました。しかし、日本では患者が出たとか、感染疑いの被験者が出たとか、そういうことはありません。一番の要は、資金面での支えを得ることで、最後のターゲットは寄付増進に尽きます。そのために、ポリオへの注目度を上げていく、そのような奉仕活動を行うことになると考えています。

司 会 次に吉田年度の地区カウンセラーのお願いです。

吉田E いまから次年度の組織図をしっかりと作成していきます。これからパストガバナーの数名の方にカウンセラーとして着任していただくことが出てきます。改めて私のほうからお願いするように致しますので、その節はお引き受けいただきますようお願い致します。

司 会 次にガバナー指名委員会からのご報告です。貴ガバナー指名委員長お願いいたします。

貴G指名委員長 ガバナー指名委員会からご報告させていただきます。

2025～2026年度ガバナーのノミネートデグジネートの選出の件です。昨年9月の月信で各クラブに対して推薦を呼びかけたところでございます。なかなか



か出てこなかったのですが、1月に1件だけ推薦がございました。福岡東南ロータリークラブの濱野良彦君をクラブで臨時総会を開いて推薦を呼びかけられ、可決をされています。ご本人は昭和22年生まれで歯科医師です。ロータリー歴は2015～2016年にクラブ会長を経験されています。地区役員としては次年度第4グループのガバナー補佐に就任する予定だそうです。このガバナー諮問委員会の前にガバナー指名委員会を開催いたしました。その結果全員一致で推薦という結果となりました。今後は、ガバナーに手続きを進めて頂きます。

司 会 ありがとうございます。次に野崎ガバナーノミニニーにご報告をお願い致します。

野崎ガバナーノミニニー お手元に小郡ロータリークラブのガバナーノミニニー通信と今年の7月からガバナーエレクトとして担当します5大会議等の予定表をお配りしています。小郡RCは四十数名の会員数の少ないクラブですが、理事会のもとにガバナーノミニニー推進委員会という支援室を作っています。そこで準備をしています。野崎年度の五大会議の予定表を1月25日現在で作成しましたので、ご紹介します。野崎年度ガバナー補佐懇談会2023年9月16日、ガバナー補佐会議2023年11月25日、地区チーム研修セミナー2024年2月22日、会長エレクト研修セミナー2024年3月9日～10日(アクロス福岡)、地区研修・協議会2024年5月18日(アクロス福岡)、地区役職者会議2024年6月22日か29日(未定)、地区大会2025年4月12日～13日(福岡国際会議場)、ゴルフ大会4月11日です。これはあくまでも予定として骨格を作っています。中身につきましては地区研修委員会のご支援をいただきながら内容を詰めていきます。

これまで研修リーダーをお勤め頂きました古賀PGは任期が吉田年度まででありますので、野崎年度では第6グループの井手PGにお願いしてご就任をご了解頂いていますことをご報告します。

司 会 ありがとうございます。戦略計画委員会のご報告を古賀委員長お願い致します。

古賀戦略計画委員長 12月7日に第2回戦略計画委員会のご報告を前回の諮問委員会で1番から10番まで審議したことをご報告して、資料は項目が多いので郵送しますとお伝えしていました。文言に不備などがありまして、法律家の方に文言の修正をしていただきました。本日出来上がりましたのでお手元にお届けしています。1番のガバナー事務所事務局長に関する項目と2番のガバナー事務所事務員に関する勤務規定についてご説明いたします。1番につきましてはこれまで規定がありませんでしたので、役割を整備しまして法律に沿った規定を作りました。また2番の事務局長員に関する規定ですが、これまで規定が見直されてきていませんでしたので、今回労基法に合うように見直し、退職金につきましても退職金規定を作りました。

両規定ともガバナー事務所に備え、いつでもご覧いただけるようにしています。本日用いました、第3回戦略計画委員会のご報告をいたします。第2700地区は3年前からDLPを進めています。地区の組織も大きく関係してきますが、五つの部門に分かれて組織運営を行っていますが、我が地区では七つになっています。七つの部門に1人のカウンセラーを付けさせていただきます。カウンセラーにお付きでないPGにつきましては、このような直近の諮問委員会でカウンセラー又は委員会の委員長にオブザーバーとして招き丁寧に説明をさせます。この規定の詳細の文言についてはきちんとしたものが出てPGの皆様のお手元にお送りします。以上第2回、第3回戦略計画委員会の報告です。

司 会 ありがとうございます。他に報告される方はないですか。

廣畑PG 末永PGが亡くなられて、末永さんの遺産を福岡市へ寄付されました。末永さんの名前を冠した公園として保存して欲しいという請願を福岡市にしました。請願の署名が5,000件以上集まり、ロータリー会員の署名が多いのですが、一般市民の署名も1,000件ぐらいありました。福岡市という折衝していましたが、福岡市が公園として整備を進めるようになりましたのでご報告致します。

司 会 ありがとうございます。以上を持ちまして、第3回ガバナー諮問委員会を閉会します。

2月度 会員数増減・累計出席率・My Rotary登録状況

グループ	クラブ名	例会数	当月末 累計出席率	期首		当 月				期首からの累計			My Rotary 登録率 (3/7現在)	23年7月1日 目標会員数
				会員数	(内女性)	入会	退会	末日会員数	(内女性)	入会	退会	増減		
1	豊前	3	81.01	31	3	0	0	30	3	0	1	-1	43.33	31
	豊前西	4	83.26	9	1	0	0	8	1	0	1	-1	50.00	11
	苅田	3	71.41	34	3	0	0	35	4	3	2	1	77.14	39
	田川	4	95.12	37	3	0	0	38	3	1	0	1	31.58	40
	行橋	3	79.12	43	6	1	0	47	6	4	0	4	95.08	50
	*衛星クラブ	2	67.53	10	3	0	0	15	7	5	0	5		
	行橋みやこ	4	66.59	53	4	1	0	55	4	2	0	2	98.18	57
計 (6RC)	23	77.58	217	23	2	0	228	28	15	4	11	65.89	228	
2	小倉	3	89.13	68	2	0	2	69	3	4	3	1	22.06	70
	小倉中央	4	87.10	40	13	0	0	41	14	2	1	1	90.00	45
	小倉東	3	97.46	99	6	1	0	98	6	4	5	-1	35.71	105
	小倉南	4	93.54	57	0	0	0	58	0	3	2	1	29.31	65
	小倉西	4	85.66	38	2	2	0	46	2	10	2	8	13.04	52
	門司	4	89.43	30	1	1	0	34	2	6	2	4	5.88	35
	門司西	3	78.98	38	2	0	0	38	0	4	4	0	31.58	43
	戸畑	3	87.18	21	2	0	0	20	2	0	1	-1	40.00	25
	戸畑東	4	88.72	25	2	0	0	24	2	0	1	-1	25.00	28
	若松	3	72.73	19	4	3	0	22	4	4	1	3	45.45	21
若松中央	4	74.65	24	2	0	1	23	1	0	1	-1	29.17	26	
計 (11RC)	39	88.40	459	36	7	3	473	36	37	23	14	33.38	515	
3	飯塚	4	93.19	69	0	0	0	75	0	7	1	6	16.00	79
	直方	3	82.92	33	4	0	0	35	4	2	0	2	45.71	41
	直方中央	3	85.60	31	6	0	0	32	6	2	1	1	93.75	34
	遠賀	3	80.73	45	4	0	0	47	4	2	0	2	40.43	50
	八幡	3	84.91	48	5	0	0	49	5	3	2	1	22.45	55
	八幡中央	4	98.55	52	2	0	0	52	3	4	4	0	53.85	58
	八幡南	3	83.95	48	1	0	0	49	1	1	0	1	32.65	52
	八幡西	4	92.50	51	0	1	0	51	0	1	1	0	25.49	54
計 (8RC)	27	88.82	377	22	1	0	390	23	22	9	13	41.29	423	
4	太宰府	2	92.90	47	4	1	0	47	4	2	2	0	87.23	53
	福岡	4	86.31	122	2	1	0	134	2	16	4	12	66.92	135
	福岡平成	3	83.65	46	12	0	0	46	12	3	3	0	73.91	54
	福岡東	3	77.76	78	18	1	1	76	17	4	6	-2	66.30	100
	*衛星クラブ	2	92.89	11	1	0	0	15	2	4	0	4	15	
	福岡城南	4	100.00	49	9	1	0	53	10	6	2	4	37.74	60
	福岡南	3	74.79	92	0	0	0	92	0	5	5	0	84.69	108
	*衛星クラブ	2	88.16	8	5	0	0	9	4	2	1	1		
	福岡東南	4	69.98	72	9	0	0	76	10	5	1	4	63.22	79
	*衛星クラブ	1	44.12	0	0	0	0	11	2	12	1	11		
博多イブニング	4	82.12	53	11	0	0	53	11	1	1	0	100.00	60	
宗像	4	71.22	40	4	1	0	42	4	3	1	2	50.00	50	
対馬	4	80.17	19	3	2	0	21	4	2	0	2	5.00	21	
計 (10RC)	40	80.97	637	78	7	1	675	82	65	27	38	63.50	735	
5	福岡中央	3	89.51	48	0	1	0	50	3	3	1	2	70.49	55
	*衛星クラブ	2	91.52	11	1	0	0	11	1	0	0	0	13	
	福岡イブニング	3	67.64	32	5	0	0	34	5	5	3	2	61.76	44
	福岡城西	3	94.10	109	0	2	0	116	0	9	2	7	26.72	120
	福岡城東	3	78.10	26	2	0	0	26	2	0	0	0	11.54	28
	福岡北	3	92.03	61	0	0	0	62	0	4	3	1	27.42	70
	福岡西	3	73.12	142	0	0	0	146	1	6	2	4	30.14	145
	博多	2	90.75	51	0	1	0	55	2	5	1	4	70.91	59
	彦岐	4	89.62	40	2	0	0	41	2	1	0	1	58.54	47
	彦岐中央	3	79.88	25	0	0	0	26	0	1	0	1	61.54	30
糸島	4	94.13	56	1	0	0	56	1	0	0	0	53.57	60	
計 (10RC)	33	84.88	601	11	4	0	623	17	34	12	22	47.26	671	
6	甘木	3	93.43	57	1	0	0	58	1	1	0	1	39.66	58
	久留米	4	77.76	86	3	0	0	86	3	3	1	2	31.40	90
	久留米中央	3	99.50	41	3	0	0	38	3	0	3	-3	43.59	50
	久留米東	3	86.60	75	6	0	0	77	6	4	2	2	27.27	80
	久留米北	3	89.21	74	8	0	0	74	7	1	3	-2	12.33	83
	小鳥郡	4	95.61	52	1	0	0	48	1	2	6	-4	41.67	56
	浮羽	4	84.77	66	3	0	3	58	4	2	10	-8	34.43	67
	計 (8RC)	27	87.37	488	25	0	3	476	25	13	25	-12	32.51	529
7	筑後川	3	99.03	24	0	0	0	23	0	0	1	-1	39.13	28
	大牟田	3	83.33	42	0	0	1	40	0	0	2	-2	100.00	45
	大牟田	4	88.44	60	3	0	0	62	4	2	0	2	51.61	63
	大牟田北	3	82.61	43	1	1	0	47	2	5	1	4	72.34	48
	大牟田南	2	86.05	24	0	0	0	24	0	2	2	0	29.17	30
	八女	4	79.32	24	3	0	0	23	3	0	1	-1	8.70	28
	柳川	2	83.04	46	4	0	0	46	4	3	3	0	58.70	53
計 (7RC)	21	85.45	263	11	1	1	265	13	12	10	2	51.38	295	

総計	クラブ数	当月				期首からの累計			My Rotary登録率 (3/7現在)	22年7月1日 目標会員数			
		累計出席率	期首会員数 (内女性)	入会	退会	末日会員数 (内女性)	入会	退会			増減		
	60	84.78	3,042	206	22	8	3,130	224	198	110	88	47.89	3,396

\*衛星クラブ：行橋COSMOS 福岡東令和あけぼの 福岡南ファミリア 福岡中央エンジョイ 福岡東南けやき

謹んでご冥福をお祈り申し上げます



故 阿部 真由美 会員(豊前RC)

- 逝去年月日：2023年3月15日
- ローター歴：11年
- 享年：満58歳

寄付認証者紹介(2月分)

ポール・ハリス・フェロー

荒井 精一 君	小倉東RC	Multiple
小副川 浩二 君	福岡北RC	
川崎 和子 君	久留米北RC	Multiple
野口 恵子 君	宗像RC	Multiple
倉田 正平 君	久留米RC	Multiple

米山功労者 ※数字は表彰回数

加藤 完治 君	飯塚RC	3
梅原 英二 君	久留米北RC	3
荒井 精一 君	小倉東RC	2
永野 賢二 君	甘木RC	1
稗田 與志人 君	糸島RC	2
石野 洋一 君	宗像RC	5
立部 祐道 君	宗像RC	7
木下 正博 君	門司RC	4
金谷 永圭 君	久留米東RC	4

4月地区内行事予定表

1日(土)	青少年交換レクリエーション
2日(日)	第3回 ローターアクトグループ会長幹事会
8日(土)	福岡北RC創立40周年記念式典 米山記念奨学生・カウンセラーオリエンテーション DX推進セミナー
12日(水)	地区研修委員会
13日(木)	インターアクト委員会 ロータリー財団委員会
15日(土)	危機管理委員会 青少年交換事業説明会 対馬ちんぐロータリー衛星クラブ発足式
19日(水)	福岡RC創立90周年記念式典
21日(金)	親睦ゴルフ大会
22日(土)	地区大会・RI会長代理ご夫妻歓迎会 ロータリー情報委員会
23日(日)	地区大会
29日(土)	インターアクト年次大会
30日(日)	ローターアクト次期指導者研修会

2月新会員ご紹介 (17RC:22名)

ご入会おめでとうございます。

グループ	クラブ名	お名前
1	行 橋	岩室 篤志
	行 橋 みやこ	石塚 貴仁
2	小 倉 東	田中 公平
	小 倉 西	神谷 輝
		山本 和男
	門 司	長畑 慎太郎
	若 松	三宅 憲一
山本 浩		
平島 靖元		
3	八 幡 西	尾崎 健二郎
4	太 宰 府	宮原 博幸
	福 岡	松田 秀一
	福 岡 東	青池 美和
	福 岡 城 南	梅田 尚彦
	宗 像	伊豆 幸次
対 馬		鈴木 純
		李 勇澈
5	福 岡 中 央	内田 佐知
	福 岡 城 西	新堀 徹
		太田 喜之
	博 多	山崎 唯
7	大 牟 田 北	猿渡 麻人

(敬称略)

ロータリーレート確認方法

My Rotary (<https://my.rotary.org/jp>)

注目のリンク内の国際ロータリー為替レート

該当月を PDF 形式でダウンロード



第2700地区ガバナー月信 編集委員会連絡所

月信担当/藤本新二 葉田二三男 花田憲司

連絡先/株ハーティブレイン ガバナー月信担当/鹿山  
〒802-0018 北九州市小倉北区中津口1-9-15MOビル2F  
TEL.(093)533-3522 FAX.(093)533-3563  
E-mail: rotary@heartbrain.com

Rotary 国際ロータリー第2700地区  
ガバナー事務所

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-1-1福岡朝日ビル5F  
TEL.(092)481-2650 FAX.(092)481-2651

事務局長 E-mail: gocheef@2700rid.com  
事務所 E-mail: ri2700go@2700rid.com  
〈執務時間〉平日/9:30~17:00 土曜日・日曜日・祝日/休務